

直翅目 2 種 (ヒサゴクサキリ・ウスグモスズ) の採集例

植田 義輔・近藤 伸一

兵庫県からの報告例が少ない直翅目 2 種 (ヒサゴクサキリ・ウスグモスズ) の採集記録について報告する。

1. ヒサゴクサキリ *Palaeograecia lutea*



1 ♀ (写真), 兵庫県加西市畑町 (34° 57' N, 134° 48' E, Alt. 100m), 11. IX. 2011, 植田義輔採集, 兵庫県立人と自然の博物館保管 (予定).

筆者 (植田) は, 本個体を中国自動車道の加西サービスエリア (東行き車線側) で採集した. 正確な採集時刻は記録していなかったが, 日没後で, 既にサービスエリアの夜間照明が点灯している状況であった. 本個体の確認地点は, 照明の近傍の地面 (コンクリート上) であった. 本種は灯火に飛来することもであるとされており (日本直翅類学会, 2006), 本個体も照明に誘引された可能性が考えられる.

なお, 兵庫県下のヒサゴクサキリの文献上の確認記録は, 「1 ♂ 1 ♀, 兵庫県淡路島北淡町, 1999 IX 10.」 (日本直翅類学会, 2006) があり, その他に「神戸市北区道場町日下部」 (宮武, 2008; 坂本・井原・藤井, 2009) と「三田市・八景中学校付近」 (坂本・井原・藤井, 2009) が報告されているが, 確認日, 確認個体数などの詳細データは記載されていない.

2. ウスグモスズ *Amusurgus genji*

2 ♀, 兵庫県三木市福井 [兵庫県立三木山森林公園] (34° 47' N, 134° 59' E, Alt. 70m), 25. VIII. 2011, 近藤伸一採集, 同保管.

筆者 (近藤) は, 本個体を三木山森林公園内にあるススキ・チガヤ草地のスウィーピングで採集した. このススキ・チガヤ草地は, かつて人工のシバ地であったところを, 生物多様性の向上を目的に, 2009 年からススキ・チガヤおよび草原性の植物 (約 40 種) を植栽して造成した人工草地 (約 5000m²) である. 植栽した植物はすべて三木市内に自生していたもので, ススキ・チガヤは株採集, その他の植物は種子から育成した. ここではウ

スグモスズの他, オナガササキリ・クビキリギス・ササキリ・セスジツユムシ・ツユムシ・マツムシ・ハラオカメコオロギ・シバズ・マダラスズ・オンブバッタ・クルマバッタモドキ・コバネイナゴ・ショウリョウバッタ・ツチイナゴ・トノサマバッタが確認された.

なお, 兵庫県下のウスグモスズの文献上の確認記録は, 「1 ♀, 兵庫県川西市, 2008 年 9 月; 1 ♀, 兵庫県川西市, 2006 年 10 月」 (村井・伊藤, 2011) がある. その他に採集例として三田市有馬富士, 明石市明石公園 (死体) があり, 発音しないため目立たないが県下に広く分布しているのではないかとのことである (八木私信).

末筆ながらこれら 2 種に関する文献や情報についてご教示頂いた兵庫県立人と自然の博物館の八木剛氏, 三木山森林公園の草地の昆虫調査にご協力いただいた渡辺弥生・大久保祥子の両氏に厚く御礼申し上げる.

○参考文献

- 宮武美恵子, 2008. 鳴く虫マップ 2007. 共生のひろば, 3: 88-92.
- 村井貴史・伊藤ふくお, 2011. バッタ・コオロギ・キリギリス生態図鑑. 北海道大学出版会, 449pp.
- 日本直翅類学会編, 2006. バッタ・コオロギ・キリギリス大図鑑. 北海道大学出版会, 687pp.
- 坂本和繁・井原敏明・藤井真理, 2009. 鳴く虫界のナマケモノ (?), ヒサゴクサキリ (第 1 報). 共生のひろば, 4: 24.

(Yoshisuke UEDA 大阪府枚方市)
(Shin'ichi KONDŌ 兵庫県朝来市)